

59 A 52
(81 G 4)
(135 B 2)

特 許 庁
実 用 新 案 公 報

実用新案出願公告
昭37-25337

公告 昭 37.9.22 出願 昭 35.6.2 実願 昭 35-29834

考 案 者	長 谷 川 月 男	春日井市勝川町6の2
出 願 人	株式会社東海理化電機 製作所	愛知県西春日井郡西枇杷島町大字 下小田井字上砂入1
代 表 者	加 藤 由 雄	
代理人 弁理士	松 波 幸 平	

(全2頁)

ロ ッ ク 付 メ イ ン ス イ ッ チ

図面の簡単な説明

図面は本考案を示すものにして第1図は縦断面図、第2図はカム筒の斜面図、第3図は同縦断面図、第4図はロック棒の正面図である。

考案の詳細な説明

本考案の目的とするところは、ロックとメインスイッチを一体に構成して取付と操作を簡便ならしめると共にロックの施錠と解錠を円滑確実にして便利なものにしようとしたものであり、しかしてその構成は内側に軸方向の摺動溝1、1を形成すると共に一側に長窓2を設けさらに基部に貫孔3および取付部4を有する筒体5の内部に、一端に係合部6を設け他端には斜状部イと水平部ロを連ねたカム溝7、7を設けて該溝7、7にはロック棒8の腕部9、9を摺動自由に嵌合したカム筒10を緩く収納して該腕部9、9の先端を摺動溝1、1に緩く係合すると共にロック棒8の先端部を貫孔3に緩く貫挿し該筒体5の外側部には端子11と接点回動体12を対向せしめて接点13の切換開閉自由となした回転型スイッチ14を装着固定し、該筒体5の先端内部にはキー溝15を有する回動軸16を回動自由に装着して該軸16の内端部をカム筒10の係合部6に係合すると共に回動軸16と一体に設けた腕片17を長窓2から貫出してその先端部を接点回動体12に係合してなるものである。なお図中の18は絶縁台床、19はキーを示す。

次に本考案の作用について説明するに、キー溝15にキー19を挿入して回動軸16を回すことにより、該軸16と一体の腕片17が接点回動体12を駆動回転せしめてスイッチ14における接点の切換開閉を行い、また該回動軸16の回動により、その先端部において係合部6が係合するカム筒10を回すので、このとき腕部9、9がカム溝7、7の斜状部イに位するときは、該腕部9、9の先端が摺動溝1、1を摺動すると共にカム溝斜状部イのカム作用によりロック棒8を外方に進出または後退の摺

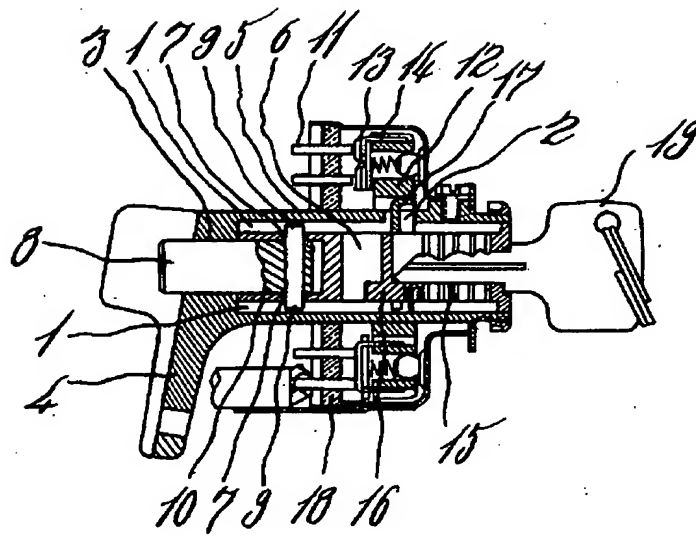
動を行わしめて自動車における把手軸その他の被施錠体がもつ自由を拘束または解放するものであり、さらに上記の場合において腕部9、9がカム溝7、7の各水平部ロに位するときは、スイッチ14における接点回動体12が回つて所望の接点切換開閉をなすも、腕部9、9はカム溝水平部ロを遊動するだけでロック棒8に対する進退的作動を与えず、従つて該棒8による施錠関係には全く変化を及ぼさないものである。

本考案は上記のごときものであるから、従来はロックとスイッチを別々に作成してこれ等を並列または分離せる2個所に取付した不便を一掃して自動車運転室のごとき狭あいな場所への取付に便利なものとなし、さらに回動軸の回動操作にてロックとスイッチを同時にまたはスイッチだけのごとく二様に使い分けられるので、各場合に好適して便利であると共にキーも1種で足るから取扱の簡易化に大きく寄与する等の効果がある。

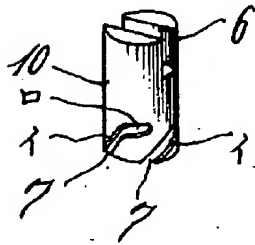
実用新案登録請求の範囲

図面に示し本文で説明するように、内側に軸方向の摺動溝1、1を形成すると共に一側に長窓2を設けさらに基部に貫孔3および取付部4を有する筒体5の内部に、一端に係合部6を設け他端には斜状部イと水平部ロを連ねたカム溝7、7を設けて該溝7、7にはロック棒8の腕部9、9を摺動自由に嵌合したカム筒10を緩く収納して該腕部9、9の先端を摺動溝1、1に緩く係合すると共にロック棒8の先端部を貫孔3に緩く貫挿し、該筒体5の外側部には端子11と接点回動体12を対向せしめて接点13の切換開閉自由となした回転型スイッチ14を装着固定し、該筒体5の先端内部にはキー溝15を有する回動軸16を回動自由に装着して該軸16の内端部をカム筒10の係合部6に係合すると共に回動軸16と一体に設けた腕片17を長窓2から貫出してその先端部を接点回動体12に係合したロック付メインスイッチ。

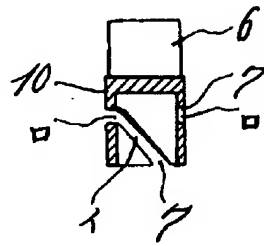
第1図



第2図



第3図



第4図

